



うけん

No.166

令和4年
11月発行

議会だより



田検小中学校運動会 R4.9.25



赤土山基地局整備費用は
保池穂好議員



遊休農地解消の進捗状況は
倉本富夫議員



新型コロナウイルス感染症対策は
肥後充浩議員



今後のコロナ支援策は
壽山新太郎議員

聞きちやさ
知りちやさ
一般質問

村政を問う

目次

- 一般質問 3～7 P
- 令和4年第3回定例会審議内容 8～9 P
- 令和4年第2回臨時会審議内容 9 P
- 決算審査特別委員会委員長報告 10～11 P
- 現地調査、議会報告会 12 P

一般質問

令和3年9月定例会から現在までの質問状況



	倉本	壽山	保池	海原	肥後	吉永	喜島	杉浦
令和3年 9月定例会	○	○			○	○		/
令和3年 12月定例会			○	○	○			
令和4年 3月定例会	○	○			○	○	○	
令和4年 6月定例会			○	○	○			
令和4年 9月定例会	○	○	○		○			

※議長は議事進行を行うため、通常一般質問は行いません。

あなたも、議会を傍聴してみませんか

議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。ぜひ、傍聴においでください。

- 定員(26名)の範囲内で、どなたでもご自由に傍聴できます。
※感染症対策のため席数を制限する場合があります。
- 受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 第4回定例会は、12月初旬を予定しております。



赤土山基地局整備費用は 1億2,100万円の見込み



保池 穂好 議員

(保池) 携帯電波の入らない赤土山の基地局、電波塔の整備費用は。
(村長) 基地局整備で最も適した場所は赤土山公園と考えています。基地局には鉄塔と、局舎、無線設備が必要であり、1局当たり6,600万円と見込んでいます。それに加えて石良集落から赤土山公園まで4キロありその分の伝送路を整備する必要があり、約2,500万円かかる。電波塔（小型基地局）は急カーブが続き電波の送受信に障害になると考えており、小型基地局を道筋に数多く設置するしか方法がないと考え一局あたり、3,000万円ほどと考

円の見込み。

(保池) 見込みと言っているが、正式な見積もりを取ったのか。

(総務課長) 携帯キャリアといわれる大きな事業所（ドコモ、auなど）に簡単に見積もりをお願いできるものではない。事業所にやる意思を伝えて、見てもらい、それから申請を上げるといった手順で行わないと金額が上がってこない。金額は似た地域の情報を得え金額を上げた。

(保池) 観光振興、村民の所得向上するために、整備は非常に重要と考える。答弁の中で実際に整備する意思を伝えないと見積もりを頂けないということだと知っているが、整備する考えはないのか。
(村長) 整備する考えはある。以前は人が住んでいるところしか整備できなかったが、緩和されてきた。事業所に要望しながら進めて

いきたい。

(保池) 以前も話したが、龍郷町などいい事例もあるので早急に進めていただきたい。（要望）

ジビエ処理施設

(保池) 村発展、村民所得向上のために必要と考えるが。

(村長) 鳥獣被害対策実践事業緊急捕獲支援事業にて令和2年3年で平均116頭捕獲しており、ジビエを活用して販売利用を進めていくのは必要と考える。処理施設で

①どこまでの工程を目指すのか。
②施設の管理体制をどこが担うのか。を検討し今後事業導入を考えていく。

(保池) ふるさと納税の返礼品、ジビエ料理の提供による誘客、ケムシムンの館への誘客、猟友会員の所得向上等様々な効果が期待されます。猟友会の方々との意見交換しながら早急に進めていただきたい。（要望）

農教連携で農業振興

(保池) 給食の村内産の農林水産物の使用状況は。

(村長) 地場産物としては、県内産の食材として把握している。県内産が48・7%、県外産が35・3%、外国産が16%となっている。

(保池) 村内産としての把握は。
(村長) 各学校で納入業者が異なり、調理場の限られた人員の中で、判別していくのは難しい。また、定量的な調査も実施していない。しかし、地元の商店や事業所も納入業者に入っておりますので村内産も使用している。

(保池) 給食で村内産のものを増やして農家の所得向上を目標に農家（産業振興課）学校（教育委員会）が連携して村の発展につなげられないか。

(教育長) 農林水産物に限らず、村内産の子どもたち安心安全を担保してうえで利用したい。
(産振課長) 各品目の確保ができるような体制づくりの指導を行っていきたい。

遊休農地解消の進捗状況は

阿室地区！8haを開墾



倉本 富夫 議員

(倉本) 阿室地区の耕作放棄地には何を作付けしていくのか。

(村長) 本年度より元気の出る公社が耕作放棄地解消対策を実施。根幹作物であるサトウキビを考えている。また、広下地区はたんかんを植付けモデル圃場として予定している。

(倉本) 阿室地区と広下地区の植え付け品目は。

(産振課長) 阿室地区は公社が管理するに当たり移動距離や機械の運搬などにロスが生まれるのでサトウキビを植付けたい。また、開拓した後は営農しやすくなっている。借手の方や担い手の方が耕作したいという希望があればす

ぐに転換できるようにと考えている。広下地区は農地を集積し大型機械導入やJ・A・普及所の講習指導を受け観光農業のモデル地区なるようにたんかんを植付けする考え。

(倉本) 耕作放棄地解消事業は今後どう考えているのか

(産振課長) 本年度は阿室、広下地区で5haを予定している。今後はほかの集落を年々耕作していきたいと考えている。

(倉本) 現在、担い手不足の問題があると思うが今後も公社が遊休農地解消や管理をしていくのか。

(産振課長) 公社では解消・開拓が主で基本は担い手の方や農業委員会を通して営農者に管理して頂きたい。今後、公社で担い手育成にも繋げていきたい。

(倉本) 現在、公社は公園や村道・林道等の作業を行っているが人数的には足りているのか。また、来

年度以降はどう考えているのか

(村長) 今の人数では農地の管理までは少し難しいと考えている。地域おこし協力隊制度の名前をシマツちゅ見習い隊と改め農業の担い手を育成していきたいと庁舎内で協議しているところなのでご理解、ご協力を賜りたい。



▲耕作放棄地解消地区▲

県道の管理について

(倉本) 県道管理の村としての対応はどうしているか

(村長) 県道の除草、植栽の管理は県より年間を通して権限移譲されており県道全体延長52kmは村内の草刈り事業班に委託し管理作業をおこなっている。道路の維持補修管理に関しては村内県道を3区間に分け村内の土木建設3事業者が県から業務委託をされている。村は、危険箇所や補修等が必要と

どんと券について

(倉本) 現在、行政が考えているどんと券の目的と課題をどのように分析しているのか

(村長) 村内の消費者の購入意欲を高め村内の経済及び商店などの活性化を図ることを目的としている。課題対策としては多々の村民に利用していただく為、また偏りもなくするために事業期間の延長をしている。

新型コロナウイルス感染対策は

感染者の生活支援の充実を図る



肥後 充浩 議員

(肥後) 新型コロナウイルスが収まらないが、予防接種の進行状況等、3回目4回目の接種人数は。

(村長) 3回目の接種条件に適する人数は1296名で、接種人数は1220名。4回目の接種対象者は、802名で、接種者は5677名。

(肥後) 村として今後どの様な計画で感染対策を行うのか。又感染者支援対策は行うのか。

(村長) 感染予防として、これまで同様の感染対策を行う。感染支援対策については氏名公表がされておらず、感染者把握が困難である。職場等からの連絡を受けて、本人了解を確認して、支援物資の

必要性を確認し物品等を自宅まで届けている。村からは、マスク・手袋・消毒液など、食料品については、買い物代行支援を行っている。又、検査に要した費用の個人負担を助成している。



▲ワクチン集団接種の様子▲

水産振興について

(肥後) 本年度のモズク生産量は。又、昨年ふるさと納税の返礼品として生産者と協議して活用していくと答弁しているが、どの程度の利用があったのか。

(村長) 今年度の生産量は昨年の3分の1の5tとなっている、ふるさと納税の返礼品としての商品登録は10月を予定している。

(肥後) 昨年から崎原地区のモズク生産組合が要望していた作業場の設置については、去年の9月議会において前向きに検討していくと答弁を貰ったが、その後の進行状況はどうなっているのか。

(村長) 要望地は利用計画に反してはいない。建屋の建設は問題ないが、補助用地であるため漁協や公共団体でないとならないため、現在見送らせていただいている。

(肥後) 漁協や公共団体でない、建てられないとの答弁ですが、モズク組合でも建てられると言うことか。

(産振課長) 事業として建てる場合は、地域振興推進事業を県単で導入して建設は可能。

(肥後) 村が建設してそれをリースする方法も出来るのではないかと。色々な面で検討し、これを前例として他の業種が出てきた時、



▲平田モズク出荷の様子▲

その他の質問
・農業振興について

今後のコロナ支援策は

相談窓口等、対応出来る体制を整えていく



壽山 新太郎 議員

(壽山) 自宅で療養されている感染者及び濃厚接触者に対する食料品等の支援体制は。

(村長) 感染者からの依頼があった場合、買い物代行支援を行っている。

(壽山) さまざまな支援体制があるが、広く村民に対し、相談体制や支援制度の活用方法について周知を徹底するべきでと考えるが。

(村長) PCR検査等を実施した方に対し、検査費用の助成を実施しており、支援制度の周知については、広報誌や村のホームページに掲載し周知している。
(壽山) 感染者等に対する、見舞

金等の経済的支援をすべきでは。
(村長) 収入減の方々にとっては切実な要望だと思う。サポート出来るか、庁舎内で協議していく。

村内のスポーツ施設について

(壽山) 老朽化が進んでいるが、今後、施設等の管理に関する基本的な考え方は。

(村長) 大規模な改修等については、財政負担が軽減されるよう交付金事業等を活用し改修出来るよう検討していく。

(壽山) 陸上競技場のアンツーカー舗装がかなり傷んでいるが、安全性等について問題はないのか。

(教委局長) 安全性に関しては問題ないと思うが、今後、スポーツ振興くじ助成金等を活用し、大規模な全面改修を検討していく。
(壽山) 相撲場等、利用実績がない施設の今後の活用方針は。



▲現在の村相撲場▲

(村長) 今後、いろんな案を取入れながら、再整備計画を立てていく予定である。

スポーツ合宿誘致について

(壽山) 今年度のスポーツ合宿実績は何件あったか。

(村長) 8月末時点で2件のスポーツ合宿の実績。

(壽山) 合宿誘致に向けた推進について、担当課はどのような取組を実施しているのか。

(村長) 教育委員会においては、施設の予約・受付業務また、日程調整等を行い、企画観光課においては、ホームページ等にて合宿誘致助成事業の周知を行っている。

(壽山) スポーツ合宿ガイド等を作成し、PR活動の強化が必要であると思うが。
(企観課長) 宇検村で合宿をされ

た方々には好印象であり、リピーター校も多いので、今後も合宿誘致に向け、広報活動も一生懸命やっていく。
(壽山) 合宿補助金等の周知も含め、多くの高校・大学がここ宇検村に合宿にきて頂くよう、関係機関と連携した誘致推進をお願いしたい。(要望)

公社の体制・運営について

(壽山) 職員を増員しているが、村民の要望に迅速に対応できているか。

(村長) 農業機械のオペレーターを育成しながら、農家の要望に対し、随時対応しているところである。

(壽山) 農業機械のオペレーター職員育成の研修状況は。

(産振課長) 令和3年度までは、オペレーター1人態勢であったが、現在は、3人態勢で展開している。今後も研修等を実施し、オペレーターを増員し、村民の要望に迅速に対応できる体制作りを実施していく。

第3回定例会

その他可決された案件

令和4年9月12日～9月20日

令和4年度補正予算

- ・一般会計
- ・国保事業特別会計
- ・簡易水道事業特別会計

条 例

- ・宇検村コミュニティバス運行条例の制定について
- ・宇検村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

そ の 他

- ・人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて 津田 政俊 氏 (宇検)
- ・宇検村教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて 村野 巳代治 氏 (湯湾)

令和4年度一般会計

補正による主な事業

土木費

工 事 請 負 費
(浚 渫 工 事)
田検川、新小勝川、阿室川
1,250万円

災害復旧費

工 事 請 負 費
(奄 美 中 央 線)
約3,354万円

第2回臨時会

令和4年10月4日

議 案

- ・令和4年度宇検村一般会計補正予算
- ・工事請負契約について (屋鈍防災会館新築工事 (建築等))

認定

滞納対策は 全庁的な取り組みを!!

37億3,474万9千円

令和3年度一般会計決算

前年度比
4.4%増

目的別 ※ () 内は一般会計決算総額に対して占める割合 単位：千円

1. 議会費	53,602 (1.4%)	8. 消防費	122,446 (3.3%)
2. 総務費	1,138,772 (30.5%)	9. 教育費	233,155 (6.2%)
3. 民生費	517,485 (13.9%)	10. 災害復旧費	28,180 (0.8%)
4. 衛生費	210,797 (5.6%)	11. 公債費	411,157 (11.0%)
5. 農林水産費	316,864 (8.5%)	12. 諸支出金	0
6. 商工費	140,541 (3.8%)	13. 予備費	429 (0.0%)
7. 土木費	561,321 (15.0%)		
歳出合計		3,734,749千円	



決算審査特別委員会
委員長 保池 穂好

令和3年度宇検村一般会計・特別会計 決算審査報告

審査の概要

令和3年度宇検村一般会計歳入歳出決算及び①国保事業 ②国保施設事業 ③簡易水道事業 ④農業集落排水事業 ⑤漁港漁村集落排水事業 ⑥介護保険事業 ⑦後期高齢者医療事業の決算審査について審査いたしました。

住民の税収を財源に住民生活や福祉向上のために、単年度にどれ程の行政効果・経済効果をもたらしたか、無駄を省いた歳入・歳出が明確化されているか、又、全ての村民に公正、公平に行政運営が行われているかを重点に審査した結果、全会一致で原案の通り認定すべきものと可決いたしました。審査の詳細について以下報告いたします。

一般会計決算

歳入 決算 総額
39億9千785万9千円で主な内訳は自主財源8億775万9千円で20・3%依存財源は31億9

千10万円で79・7% 繰越金は2億2千467万3千円で5・6%となっております。財源比率に於いては依存財源頼みの行政運営ですが、今後も知恵を出し工夫を行いながら、更なる自主財源確保のための取り組みを望みます。村税と税外収入については、現年度の徴収率が99・6%となっております、職員の取組が高く評価できるが、収入未済総額は845万8千円、不納欠損額が32万6千円と多額で深刻な状況にあります。主な収入未済額については、村税の固定資産税が208万5千円で不納欠損額は32万6千円、住宅使用料が618万8千円であり前年度より86万円減少している。滞納者対策については、村民の公平公正な観点からも適正な徴収対策をしていただくことを強く望みます。歳出決算総額は37億3千474万9千円で、内訳は義務的経費13億2千28万4千円で前年度比1億4千302万2千円の増、投

資的経費8億4千316万8千円で前年度比3億875万2千円の減、その他の物件費、繰出金等は15億7千129万7千円で前年度比3億2千444万9千円の増で、本年度歳出総額は前年度比1億5千871万9千円の増となっております。令和3年度、歳入歳出差引額2億6千311万円が翌年度へ繰越となっております、繰越金が多額にならないよう検討を望む。少子高齢化で人口減少に歯止めが立たない現状ですが、職員一丸となって村民への福祉向上・経済活性化に努めるよう切望いたします。

特別会計決算

7特別会計歳入決算総額8億8千180万円で、前年度比24・7%の減、歳出決算総額8億3千732万1千円で前年度比27・7%の減となっております。国民健康保険事業においては、現年度の税の徴収率は96・5%で前年度より0・2ポイント高

く、収入未済総額は112万5千円であります。その他の6特別会計で収入未済総額は435万6千円、現年度の使用料徴収を中心に行っているためではあるが、滞納額が高額となっております、今後一般会計と同様に、全庁的な取り組みが必要と考えます。本来、特別会計は独立採算が原則であるが、依然として一般会計からの繰入が多く、一般会計の財政を圧迫している状況は長期的な計画や抜本的な対策が求められます。集落排水事業の加入率については、8割の加入率となっておりますが、引き続き加入率の向上に努めていただきたいと思えます。漁港漁村集落排水事業は、89・6%が繰入の現状から将来を見据えた抜本的な対策と、村としての将来の方向性を引き続き探索する必要があると考えます。

令和3年度決算は概ね初期の目的に沿って執行されたと評価します。経常収支比率90・5% 実質公債費比率9・0% 将来負担

比率はなしで、改善傾向にあるが、財政健全化に向けて尚一層の努力を切望する。又、一般会計及び7特別会計の起債残高合計は51億1千419万3千円です。財政の弾力化、健全化にむけて、更なる行財政改革の持続的な努力と自主財源確保のための施策が求められることが今後の課題と言えます。

主な質疑・意見

・滞納対策について、他の課と情報を共有しながら徴収対策を全庁的に取り組んでもらい、島外の徴収についても積極的に実施してもらいたい。
・海岸の漂着軽石については、県と連携を取り実施してほしい。
・集落助成金について、集落の活性化の目的ではあるが、長期化するコロナ禍の中、今後の在り方について検討の必要がある。

・公用車のリース利用が増えているが、今後の公用車の導入について方向性を検討する必要があるの

審査の結果

本決算審査特別委員会に付託された令和3年度一般会計及び7特別会計決算は、全会一致で認定することに決定しました。

新型コロナウイルスの影響により、村内の経済や住民活動に大きな影響が出ている中で、日常生活や経済・社会活動を継続できるような様々な施策を実施されることを強く望みます。

最後に、執行部は本特別委員会 の指摘と提言を真摯に受け止められて、職員一人一人が問題意識を

もって財政の健全運営に努め、改善を行い、地域の活性化に取り組み事を強く要望して、令和3年度決算審査特別委員会の報告とします。



▲決算審査特別委員会の様子▲



現地調査

令和4年9月16日(金)。H23.3月の東日本大震災時やH28.4月の熊本地震時に支援活動を行ったヘリコプター搭載護衛艦「ひゅうが」が公開され、議員全員で参加しました。



議会報告会

令和4年7月4日～7月7日に各校区で議会報告会を行いました。たくさんのご意見、質疑等をいただき、議会からも村当局へ提言いたしました。村民の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



★開催集落★
 阿室校区・・・平田
 名柄校区・・・名柄
 田検校区・・・芦検、田検
 久志校区・・・久志



編集後記

村民の皆様こんにちは。本日は、

『幸せに生きている人の口癖』というコーナーでございます

♪ 「私は運がいい！」

と言葉にする人はやはり幸せに生きている人が多くて

「楽しいね」「嬉しいね」

とプラスの感情を何度も言葉にする人も幸せな人が多いです。

♪ ご飯を食べるときに

「美味しそう♪」「美味しい♪」「美味しかった♪」

と、まるでグリコのキャラメルのキャッチコピーのように一粒で三度「美味しい♪」を味わえる人って幸せな人だなあと思います。

♪ 普段自分が何度も繰り返す思考の「癖」。

毎日の生活の中で、前述のような仕事の場面や出来事があっても、それを自分が幸せになるようにとらえ方を変えることができれば、幸せを自分でクリエイトすることができるし、反対に不幸もクリエイトすることができるのです。とのこと。

♪ 毎日プラスの言葉『うれしい、たのしい、今日も仕事をがんばった』を口癖にして幸せに生きていたらいいですね
 保池 穂好

【発行責任者】

議長 杉浦 治俊

【議会だより編集委員会】

委員長 保池 穂好

委員 壽山 新太郎

委員 倉本 富夫